

石岡 あづみ様

朝晩は冷え込みを実感する今日、この頃です。

先生のご葬儀から七七日のご法要までご多忙でさぞ大変でしたでしょう。お疲れがでていないかと気にかかります。

又、先日は私にまで、先生が晩年ご愛飲されていたとのお酒を送っていただきましてありがとうございます。もったいなくてなかなか栓があきません。暮れになったら先生を偲んで飲もうと思っています。

思い出すのはちょうど17年前の10月です。先生が広島で山の講演がありその帰途、奥様とご一緒に少し遠回りをして我が家に寄ってくれました。出来たばかりの瀬戸大橋を真下から眺め、また瀬戸内海の景色を堪能し、翌日は朝、岡山の後樂園をご案内しました。

奥様が私に「あんたが皆と遠くに離れてどんな生活をしているかと心配していたけど安心した」と云ってくださったときの事は忘れられません。また、その時先生が陶器の瓶に入ったナポレオンをお土産にわざわざ名古屋からご持参してくださいました。その時も栓をあけられず息子が大学を無事卒業したら息子と一緒に飲もうと大事にしていたのですが、更に持ち越して結局5年前に息子の結婚祝いに飲みました。

八事のお宅へ押し掛けては甘えてばかりいて、社会人になってもなにひとつご恩返しもせずこの年になりました。その間、石岡先生は私にとって周囲の人々に「ボクの先生はこんな人なんだ」と自慢できる唯一の方でした。感謝の気持ちで一杯です。

お二人のご冥福をこころより祈っております。

また、あづみさんも先生のご遺稿のとりまとめでお疲れと思います。お体を大切になさって下さい。

10月8日

後藤 徳夫

昭和43年8月 南アルプス塩見岳登山

左の写真 ケルン右横に立っているのが後藤さん。下段左から二人目が父。



後藤さんのお宅にお邪魔した時の様子が父のスクラップブックの中がありました。右がそれを切り取りスキヤニングした物です。



左の写真
後藤さんと母。